第3講

プレゼンテーションの必須事項③ ポスター・スライド

チャプター1

タイトル

書き込んでみよう

○タイトルで注意すべきこと

1

2

○許されるならば、表現に工夫することも

1

2

3

生徒メモ欄

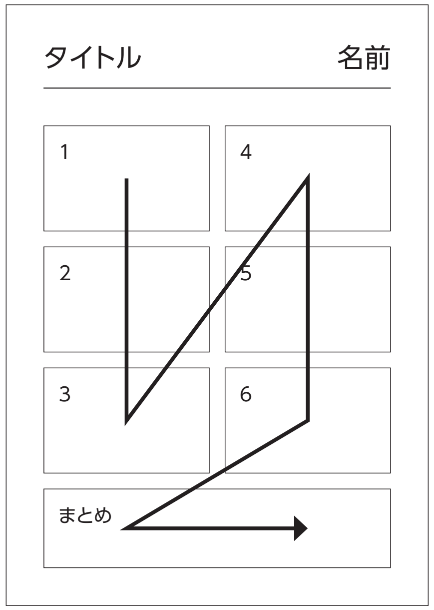
教員記入欄

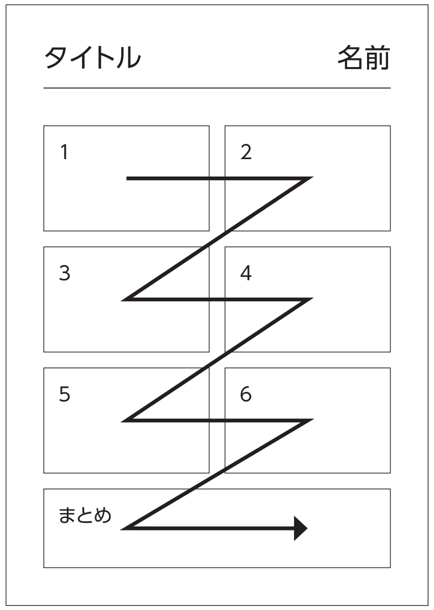
チャプター2

ストーリー

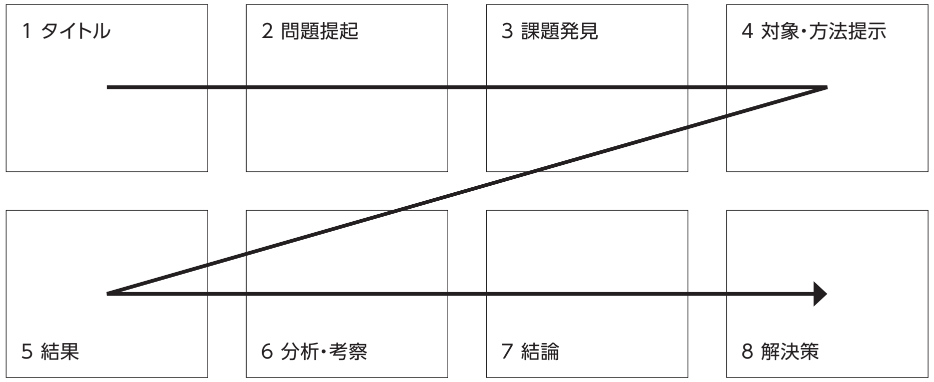
○流れがわかりやすいレイアウト

●ポスターの場合





●スライドの場合



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

ポスターの例

例を見てみよう

SNSの利用と高校生のメンタルヘルスの関係性について

かもめ高等学校
3年1組
須田サオリ

1　本研究の概略

昨今、SNSを通じた誹謗中傷で芸能人が自殺をするなど、SNSの活用やモラルの欠如が社会問題になっていると考える。単純に若者のSNSの利用を制限するのではなく、若者達地震でSNSをうまく活用する方法を身に着けていく上で、必要なことは何かを調べ、自分自身や周りの友人にも紹介したい。

2　背景

自分自身や周りの友人なども含めてSNSを利用している高校生は非常に多いが、SNSを通じてのトラブルや「病む」といったようにメンタルに悪影響を及ぼしているケースがよくあるように思う。これからの世の中を考えるとSNSの利用を制限するのではなく、「病まずに」うまく活用していける方法を知るべきだと考えた。

3　検証の意義・目的

SNSによる誹謗中傷やいじめなどを根本的に解決することはなかなか難しく、今後の世の中はSNSなどを通じて人間同士がつながっていくことが必要になる為、SNSの活用を制限するのではなく、SNSによってメンタルに悪影響が及ばないように自分で自分を守る為の知識も今の若者には必要ではないかと思う。そのため、メンタルに悪影響が及ばないようなSNSの適切な利用方法を考えたい。

4　検証方法

本校の生徒450名(男子230名、女子220名)にアンケートを実施した。

また、その結果をいくつかの観点で相関性を見た上で、メンタルヘルスに悪影響を及ぼす可能性のある要因と活用方法を調べた。

5-1　調査結果・考察

①高校生が利用しているSNSの種類と利用率

高校生が利用するSNSとして、LINE、Instagram、Tiktok、Twitterの4種類をあげ、それぞれの利用率を男女別に調査した。概ね利用状況は変わらなかったが、全体的に女子の方がSNSを利用している割合が多く、また種類ごとで男女比の違いも若干ながら見られた。

②利用しているSNSの種類と悩み

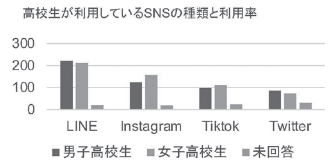
　SNSによって使用場面や特徴に差が見られることから、普段よく使用するSNSの種類によるメンタルへの影響、つまり悩みの種類にも差が出るのではないかと考えた。結果を見ると、SNSを多く利用している高校生は人間関係の悩み、Instagramは自己肯定□の悩み、Tiktokは外見の悩み、Twitterは誹謗中傷や噂話といった悩みが多いということが分かった。これより、普段どのSNSをりようしているかによって、メンタルヘルスに与える悪影響にも差がでる可能性が分かった。

③SNSの利用頻度と悩みの深刻さ

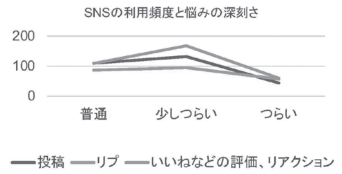
利用頻度と利用方法（投稿、リプ、いいねといったリアクション）と、悩みの深刻さには相関がみられ、利用頻度が高ければ高いほど悩みが深刻であり、いいねといった評価のリアクションの頻度が多い場合が一案深刻だった。

5-2　検証結果 補足（図表データ）

①



③



6　まとめ・今後の展望

普段何気なく利用しているSNSだが、自分たちがどのような影響を受けているのかを客観的に理解することができて非常に面白かった。自分の悩みなどに応じて、利用するSNSを選んだり、利用方法を変えるなどをすることで、「病まず」にうまくSNSを利用して、コミュニケーションをとっていく方法を考えていけそうだと思った。また、高校生だけではなく、小中学生や大学生など、年代が変わると結果も変わるのか興味がわいたので、今後機会があれば調査をしてみたいと思った。

7　参考文献

・神崎史彦（2021年）『●●●●●●』，リクルート書房

・K.Fumihiko(2020)「■ ■ ■ ■」,Kanzaki TIMES

・カンザキフミヒコ（2020年）「▲ ▲ ▲ ▲」，『かもめ大学大学院社会学研究科論文集』，20ページ

・K.ふみひこ「※※※※」https://www.※※※※（2021年※月※日 時点）

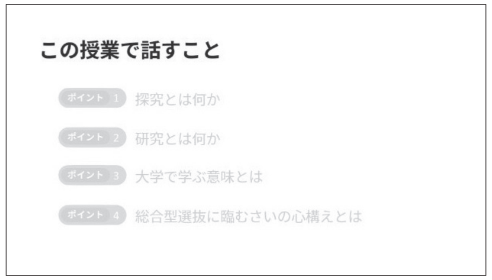
生徒メモ欄

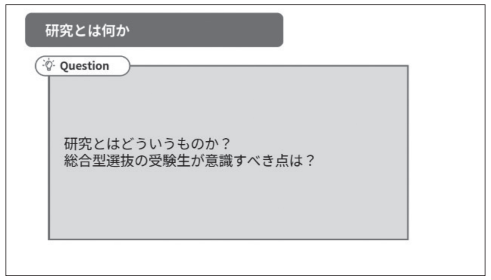
教員記入欄

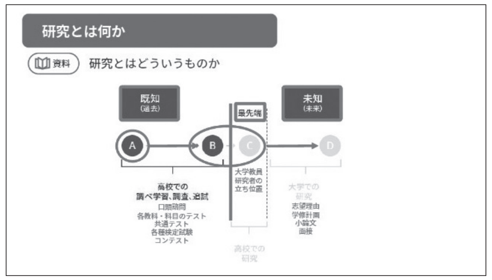
チャプター4

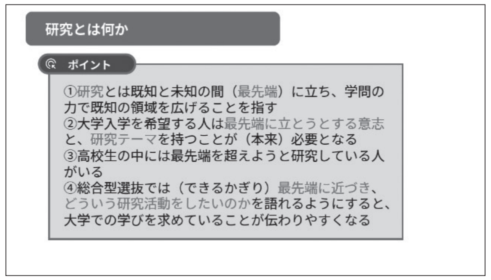
スライドの例

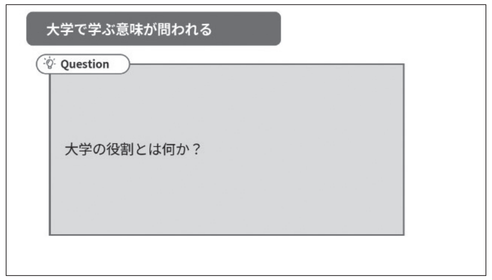
例を見てみよう

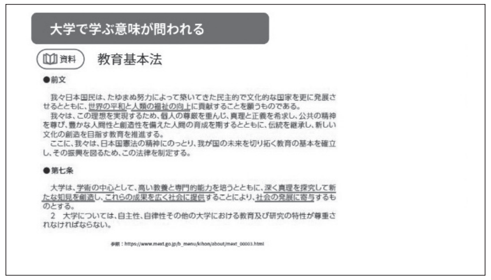


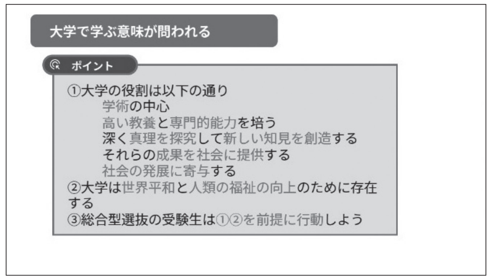












生徒メモ欄

教員記入欄